



特集テーマ：多専門職連携教育を考える

募集の趣旨：淑徳大学大学院総合福祉研究科の紀要では、学術的な議論の更なる活性化を目的として、特定のテーマに焦点を当てた特集を企画いたします。今回の特集では、「多専門職連携教育（Interprofessional Education: IPE）」をテーマに、福祉、保健・医療、心理、教育、栄養などの分野における専門職連携の重要性や教育のあり方について、広く論考を募集します。

現代社会においては、単一の専門職領域だけで支援を完結することが難しくなり、専門職同士の連携（Interprofessional Work: IPW）が不可欠になっています。特に、少子高齢化に伴う複雑な社会課題に対応するためには、専門職連携教育を通じて、学生が各専門分野の役割を理解し、連携能力を養うことが求められています。

本特集では、実際に行われている教育プログラムやその効果、また今後の課題や展望について議論し、より効果的な専門職連携教育のあり方を考察することを目的とします。「他職種理解」「職種間コミュニケーション」「自職種の振り返り」「関係性の活性化のための方策」など、多様な視点からの論考や実践報告を歓迎します。

【募集内容】

対象原稿：特集テーマに関する研究ノート、エッセイ、論考、実践報告、書評など

文字数：2,000～4,000 字程度

応募資格：教員、大学院生、研究生、実践者など

投稿方法：Word ファイル形式にて、メール添付で提出（提出先：grad@soc.shukutoku.ac.jp）

※書式やフォーマットは研究紀要執筆要項に従ってください。

締切：2025年6月30日

審査・掲載：紀要編集委員会による審査のうえ、掲載の可否を決定

※査読（Peer-review）は行わない

【お問い合わせ】淑徳大学大学院総合福祉研究科紀要編集委員会 E-mail：grad@soc.shukutoku.ac.jp

本特集へのご投稿を心よりお待ちしております。

付録1 今回のテーマについて（詳細）

テーマ:

多専門職連携教育を考える

ネライ:

福祉、保健・医療、心理等、人を支援するうえで、今や単一の専門職領域だけで完結することはなく、さまざまな支援場面で、さまざまなタイミングで「専門職連携」が不可欠になってきています。社会の変化に対応するためにも専門職同士の連携（Interprofessional work:IPW）や、その基盤となる専門職連携教育（Interprofessional education: IPE)の重要性が高まってきています。

淑徳大学でも例えば数年来、看護学科・研究科と福祉学科・研究科との間で、学生同士がともに学ぶIPEを卒前教育として取り入れて久しいところです。この間実施されてきた学習方法も、実にいろいろなかたちが模索されてきました。今後さらなる効果的な実施のためには、教員に対するFDも重要になってくるでしょう。

淑徳大学では、看護、福祉、心理、栄養、教育等、各専門職教育が行われています。今後、少子高齢社会で生じるさまざまな複雑系課題に対応していくためにも、各学科・研究科に所属する学生・院生たちが「専門職連携教育」において身につけていくべき能力(コンピテンシー)とは何であるのか、この機会が、あらためて考える一つのきっかけになればと考えます。

実際に今、そうした教育についてどのような展開が見られているのか、またそのさきがけとしてどのような取り組みが実際に行なわれてきているのか、等々を考えていきます。

「他職種理解」「職種間コミュニケーション」「(そうしたなかでの)自職種のふりかえり」「関係性の活性化に向けて何が必要か」等、出来るところから議論を開始してみたいと思います。

付録2 本企画(特集)について

(1) ねらい

淑徳大学大学院総合福祉研究科の紀要には、これまで原著論文や研究ノート、書評等が掲載されてきました。しかし、学術的な議論の更なる活性化を目指し、新たな試みとして、特定のテーマを設けた特集を組むことを提案いたします。特集テーマに沿った原稿を広く募り、多様な視点からの考察や研究成果の集積を図ることで、より深い学術的交流と議論を促進することを目指します。さらに、福祉、実践心理学、教育、ヒューマンケア等の多様な領域を束ねる当総合福祉研究科の強みを活かし、立場、視点、あるいは学術的背景の異なる複数の執筆者が領域を超えて共通のテーマに臨むことは、学際的アプローチや横のつながり等の強化につながり、学術活動の発展に貢献できると考えます。さらに、文字数制限等の緩和によって、当研究科在籍中の大学院生にとって、原著論文等と比べて比較的に取り組みやすく、大学院生に対する良い機会であり、良い刺激になることを期待します。

(2) 概要

1. 特集テーマの導入

特定のテーマを設定し、紀要に特集として掲載します。特集テーマは、社会福祉学に関連し、学術的意義の高い内容を中心に設定します。これにより、社会福祉分野における時宜にかなった研究成果を集約し、専門家間の活発な議論を促します。

2. 募集内容

特集テーマに沿った論稿(2,000~4,000 字程度)を若干名の執筆者に依頼し、同時に、広く募集します。テーマに関連する理論的考察や実践的事例、研究成果など多様な視点を取り入れることで、特集全体の内容をより豊かなものにします。

(3) まとめ

以上のような特集企画を実施することにより、淑徳大学大学院総合福祉研究科の学術交流と研究成果の発展を促進し、社会福祉分野における知見の深化に貢献していくことを目指します。編集委員会一同、この新たな取り組みが紀要の価値向上につながるよう努めてまいりますので、ご検討のほどよろしくお願いいたします。